

播磨町教育委員会

新世紀を担う心豊かな人づくり

播磨町教育委員会では、播磨町に最適な教育を進めるために、学校や地域と一体となって施策の推進に努めてきました。

●教育委員会

本年度の大きな課題であった中学校給食については、年度当初より他の地域などを参考に調査研究を続け、食育推進計画の一つの方策として、実施に向けた検討に入っています。今年度中に具体的な方針を示す予定です。

各学校にコーディネーターの配置や校内委員会の設置、研修会や講演会の開催など特別支援教育への取り組みの充実を図りました。

●社会教育委員

県立考古博物館と連携してのふるさと意識の高揚、放課後子ども教室など子どもの居場所づくり、住みよい町づくりのあり方などについて検討しています。

●人権啓発推進委員会

9月には「コミセンのついで」を企画、運営しました。現在「いきいきフォーラムの手引き」の改訂を検討中です。

●家庭教育推進委員会

1月に講演会「脳と心を育てる21のスキル」を開催、また子どもを育てる啓発資料「心も体もニコニコ播磨っ子」を2月に発行します。

●青少年育成推進委員会

近隣での子どもを狙った凶悪な事件を受け、関係機関と連携し、巡回パトロールや広報車での呼び掛けなど、子どもの安全確保に努めています。



▲不登校と発達障害

播磨中学校

平成19年度の主な取り組みを振り返って

○全校生徒との個別面談

思春期は、心身ともに不安定で悩みも多く抱えています。一人でも多く自分の良さを見つけ、夢を持ち、目の前の課題に向かって突き進む勇気をもってもらいたいと計画し、3年生は1学期に、2年生は2学期に校長との個別面談を終えました。3学期には1年生の予定です。生徒は、校長との10分間を長く感じたようです。

○特別支援教育への取り組み

生徒理解と学習指導の工夫・個の能力に応じた指導と支援のあり方などについて研究を進めてきました。現在、本校独自のシステムで教科によっては複数の教師で指導に当たっています。本年度の取り組みを生かしコーディネーターとの連携を深めながら来年度の体制を検討しています。

○教育講演会の開催

携帯電話の所持率は、学年進行とともに増加しています。



▲PTA・ボランティアによるうどん

そんな中、「書き込み」によるいじめや中傷などの被害に遭う生徒もいます。「インターネットの光と影ー最新IT護身術」と題して、講師の和崎宏先生は、被害にあったときに親や友人に相談できること、使用者のモラルやマナーの大切さを強調されました。携帯電話が本来に必要な場合も含め、使い方をもう一度見直して欲しいと思います。

○課題

生徒会活動の頑張りもあり、新たな校風ができたように思います。来年度は、学級を母体とした取り組みを活性化し、活気ある集団にできればと考えています。

安全・安心の学校づくりが信頼される学校であることを念頭に、学校運営に努力します。

播磨西小学校

豊かな表現力を培う 学習活動の創造

本年度、本校は、ひょうご学力向上推進プロジェクト事業に係る地区別指導方法工夫改善事業の研究協力校及び環境体験事業推進校として全教育活動の中で実践に取り組んできました。

「自分の感じる心を大切にしたい問題解決の場が開かれていれば、子ども個々の豊かな自己表現が育まれていく」という研究仮説をもとに教育実践を行ってきました。

教科の学習では、自分の思いや考えを表現できる子どもが増えてきました。また全校歌唱や音読会、作品展、劇など学習の成果を発表する場を通して、子どもたちの表現力も向上してきたように思えます。のびのびタイムでの計算練習や読書活動など基礎学力の向上も目指しています。

環境体験活動

年間を通じた栽培活動を体験することで、土に親しむことができました。また、家庭や校外の樹木を中心とした自然の変化に目を向けさせ、自然の移り変わりや豊かさを体感することで環境を大切にすることを育てています。

今後も、子どもたち一人ひとりの可能性を伸ばし、将来の礎を築いていけるよう教育活動の充実に向けていきたいと考えています。



▲1年生研究授業

播磨幼稚園

響き合い、育ち合う あたかい幼稚園

幼児が身近な環境や人々に主体的にかかわりながら、豊かに感じたり考えたりすること、互いに刺激し合ったり認め合ったりすることを大切に考え、共に育ち合う教育を進めてきました。

○自然体験の充実

自分たちで花壇を作ったり、四季の様々な花を植えたりしたことで、より親しみをもって自然を見たり感じたりしています。



▲友達と一緒に

五感を通して感じたり考えたりする場を大切にすることで、自分の思いや気持ちを素直に表現しようとしていきます。

自分たちで、種や苗から野菜を育て、調理して食べたいことで、「食」に対する関心が深まりました。

○響き合う人とのかわり

思いを伝え合ったり、一緒に考えたり試したりして、自分達で生活を進めようとしています。

刺激し合い、認め合うことで、意欲や自信につながっています。

小学生や中学生、学園北や老人クラブなど、地域の様々な人々と交流を深め、人とかがわる喜びや楽しさを感じています。

播磨小学校

夢をもち、未来を拓く 心豊かな播磨っ子を目指して

本年度の主な取り組み

○基礎基本の定着

BOSタイム(朝の学習)で、本読みや計算、書き取りなど基礎的な学習の充実に努めました。

引き続き国語の研究に取り組み、一人ひとりを大切にした国語授業のあり方を追及しています。

○特別支援教育の推進

校内委員会を組織し、特別支援教育コーディネーターやスクールカウンセラーのもとに個別の支援計画の作成や指導体制作りなどきめ細かな指導を心掛けていきます。

○心を育てる体験活動の充実

学年ごとに工夫した体験活動を行っています。

- 1年 お年寄りとの交流
- 2年 漬物作り(老人会の皆さんから)
- 3年 ラグビーの大八木さんから直接指導
- 4年 スナッグゴルフ体験・福祉体験
- 5年 自然学校・NHK放送局見学
- 6年 親子性教育学習会・職業体験

うるおいのある環境づくり
体験的な学習の場と豊かな学習環境を目指して、中庭に花壇や野菜畑、昆虫の家を作りました。

今後に向けて

創立135年の歴史ある学校として、知・徳・体の調和がとれた児童の育成を目指し、地道でも確実に成果の上がる取り組みを実施していきたいと考えています。



▲漬け物づくり

連池幼稚園

心豊かに生き生きと活動する子どもの育成を目指して

幼児の発達段階に応じ、必要な経験が積み重ねていくように、幼児の興味や関心を大切に受け止めていきながら、年間を通して環境の構成を計画的に工夫しすすめてきました。また、全職員が全園児にかかわるという姿勢で取り組んできました。

① 幼児一人ひとりの発達をとらえたかわりの中で

幼児が自分の良さやもっている力を、いろいろな場で発揮するようになってきています。

② ともに生活する中で

いろいろな考えをもった友達と、互いに受け入れ合ったり認め合ったりしようとするようになり、一緒に生活する喜びを感じています。

社会生活に必要なルールや態度を身に付けてきています。

③ 様々な人との交流を通して(保育園児、小学生、中学生、老人クラブ、図書ボランティア、地域ボランティア)

温かい心を感じ、人への愛情や信頼感が育ってきています。

④ 幼小連携を通して

小学校のいろいろな行事に参加し交流をもったり相互理解に努めたりしてきました。さらに、幼稚園では教育内容を充実させ、3歳・4歳・5歳の発達段階に応じた育ちを確かなものにして、小学校へつないでいきたいと考えています。



▲地域のひと

クリーンアップ・ハリマ

播磨中学校

今年も恒例の地域清掃活動を12月1日(土)に実施しました。生徒会役員が中心になりボランティアを募ったところ個人や部活単位で、120人余りの生徒たちが参加しました。道路や公園、新幹線下、喜瀬川周辺など、体操服が草の実だらけになりました。一生懸命きれいにしました。2時間ほどでたくさんゴミを回収しました。集めたゴミは学校に持ち帰り、生徒会役員がご



▲たくさん集めました

んこになりながら分別しました。地域の方々も一緒に清掃して下さったり「ご苦労様」と温かい声をかけていただいたり、なんだか心もポツと温かくなりました。とてもさわやかな、いい一日でした。



播磨南高等学校のきゃんぱすだよりは、生徒会が執筆しています。

播磨南高等学校

あつとつうまの一年

早いもので、もう2学期が終了しました。1年の中で最も期間が長いだろうと思っていたこの2学期でさえも短く感じられ、私たち自身も驚いています。

今学期は、学校行事は少なかったものの、ボランティア活動に積極的に参加しました。中でも11月3日(祝)に行われた大中遺跡まつりでは、受付や駐輪場の整理などそれぞれに分担された

ことになりました。赤ちゃんからおとなまで幅広い年齢層の人たちと交流することができ、何より大中遺跡だけではない、体験できないことをやらせていただき、とても良い勉強になったと思います。

残りの3学期も、学校行事はもちろんボランティア活動にもどんどん参加していきたいです。



▲古代パレードにも参加しました

播磨南高等学校のきゃんぱすだよりは、生徒会が執筆しています。

播磨南高等学校

きゃんぱすだより

かけ足、がんばったよ!

播磨小学校



▲くすのきのまわりを走ります

播磨小学校では、11月20日(火)から30日(金)までの2週間、業間時間に全校の児童でかけ足を行いました。かけ足時間は最初の1週間は5分間を走ります。第2週は、3年生以上の児童は7分間走ります。最初のころは、少し走っただけで、疲れて歩き始める子どももいましたが、慣れてくると最後まで走り続けることができるようになってきました。走った後は、その日に走った距離をがんばりカードに記

入するの子どもたちの楽しみです。第3週目には、記録会がありました。学年ごとに5分間走をして、距離を測定します。目標は去年の自分の記録を上回ることです。みんな2週間のかけ足の成果を出してがんばれました。



▶記録会「何メートル走れたかな」

楽しかった修学旅行

蓮池小学校

10月末、広島、宮島方面へ修学旅行に出かけました。

1日目は、平和学習です。平和の子の像の前で黙禱を捧げ、世界平和を願いました。その後、平和公園で碑巡りをしたり、語り部さんからの貴重な体験談を聴いたりして、最後に平和資料館で原爆のむごさ、恐ろしさを知り、言葉にならないほどのショックを受けました。

2日目は、チボリ公園で思いっきり遊びました。あまり絶叫マシンはありませんでしたが、お化け屋敷や、観覧車、空中ブランコなどを楽しみ、帰る間際に、慌ててお土産を買いに行く子もいて、集合時間ぎりぎりまで楽しみました。



▲感動しました



2日間、あつとつうまに過ぎてしまいましたが、思い出せばいい修学旅行は、無事終わりました。中学校へ、一歩一歩近づいていきます。

きゃんぱすだより

サンタさんめぐりがUJII!

蓮池幼稚園

今日は子どもたちが楽しみにしていた「楽しいついで」です。登園してきた子どもたちは、作ったブーツがないことに気付きました。「ブーツ知りませんか?」と、いろいろな部屋を探し回ります。「楽しいついで」では先生たちが5人のサンタクローズの劇や、雪だるまのチャチャチャ♪の合奏をしました。そのとき、サンタさんからテープのお手紙が

届きました。「プレゼントを持ってきたよ。お部屋に行ってくださいよ。」と。お部屋に戻るとブーツの中にプレゼントがいっぱい! 子どもたちは大喜びです。「サンタさんにお礼を言わなきゃ」お空に向かって「サンタさん、ありがとう! いい子にしているから、来年も来てね!」



▲サンタさん、ありがとう



みんなの気持ちをひとつに!

播磨保育園

今日は待ちに待った音楽会。「頑張るから見ててよ」と、はりきって登園してきました。中央公民館の大きな舞台上になると、2歳児は、にこにこしながら身体を乗り出して歌い、また手づくり楽器を持って鳴らしたり踊ったりして大喜びでした。「まっくろくろすけ出ておいでえ〜」の声で始まったトトロの曲で合奏した3歳児。自分たちで作ったトトロの笛が可愛らしく奇麗に響いていました。4

歳児になると、鉄琴、木琴、シンバルや大太鼓などたくさんのお客さんの楽器を使った迫力のある演奏でした。5歳児は、「みんなの気持ちをひとつにしよう」を合い言葉に取り組んできたので、一人ひとりの音がひとつになって素敵なメロディーを聞かせてくれました。演奏後は、たくさんのお客さんを前にしてやり遂げた達成感でも満足した表情でした。



▲これが手作り楽器だよ



▲トトロの笛で合奏したよ

きゃんぱすだより

あなたに はつたつち!

リレーエッセー⑪

子育て、 孫育て!!



高木 利佳さん
(野添)

趣味 編み物
ビーズ小物作り

もの作りが大好きなので、毎日かばんやショール、帽子などを編んでいます。

ただ今子育て真っ最中の我が家は、男2人の兄弟なので毎日ケンカが絶えません。どこで覚えたのか、見たことのない足技や聞いたことのない暴言の数々が毎日飛び交っています。私としては2人だけの兄弟なので、仲良くして欲しいのですが、チョコ1個、色鉛筆1本、拳句の果てには歯磨きの順番までケンカしています。落ち着かせたくて抱っこしようものなら「そっちの方がいっぱいだっことしている」って、またまたもめる原因へ。どんなに平等にしても駄目なようです。でも兄弟げんかなら、よそ様に迷惑をかけるないので心ゆくまでやっとなさい。

こんな2人も兄弟愛だけじゃしっかり芽生えているようで、私が長男を叱れば次男が無言で私につかみかかって兄をかわい、またある時、私が次男を叱れば「弟はまだ赤ちゃんやから、そんなおこつたらかわいそうや!」ともう4歳になる弟を必死で長男が守っています。いつまで赤ちゃん?と言いたいところですが相手のことを思いやる良いところを、大切に育てていきたいです。そんな子どもたちも祖父父母からすると、とてもかわいいため、毎日子どものお迎えはもちろん、雨の日は運転手(祖父)付きの車が自宅前にやってくる。保育園まで送ってくれます。私が働いているの

で、病気のときは子どもと保険証を預けると、仕事帰りに薬つきの子どもを自宅まで送ってくれます。祖母は、毎日仕事をしているにも関わらず「帰ってから夕飯の準備は大変やから」と、よくおかずを持たせてくれます。これがとってもありがたい!! 子どもたちは、保育園や学校で全力を使い果たし帰ってくるのでいつも夕飯を作っている間にウトウト眠ってしまつてからです。偉そうに子育て中とはいっても両親の助けがなければ、とても生活できません。本当に感謝・感謝の毎日です。ただいま、子育て、孫育ての真っ最中の両親へ! またまた手のかかる子と孫たちですが、恩返しする日がくるまでどうぞよろしくお願ひします。「楽しみに待っててね!!」孫より。



はりま川柳教室

代表者 東馬場美和子さん

活動をはじめたきっかけは? 主人を亡くして落ち込んでいた時に、先生から誘われて入った人や、ほけ防止や生きがいのためなど様々なきっかけで始めています。

グループのメンバー構成の特徴など 50代から80代まで男女合わせて18人のメンバーで活動しています。経験は様々ですが、互いに学び合い、とても刺激のある教室です。

活動の内容 毎月、第2月曜日午前9時30分から12時まで活動しています。各自作ってきた句を題材に勉強しています。その他には、全国の川柳大会に投稿し、好成績を収めています。昨年は、文部科学大臣賞、昨年はNHK大賞を受賞した人もいます。

毎回、和気あいあいと楽しく笑いが耐えませんが、川柳は五七・五に人間性を表現する奥の深いもので、「きらり」と光った句に出会えたときはとても感動します。

最近の話題 年2回は、教室終了後に食事会をしたり、11月は紅葉見物兼ねてバスで吟行に出ました。昨年は、福知溪谷に出かけました。



▶中央公民館で活動しています

ひろば